

新しい学年を目前にして、この一年を振り返る

今年度も残すところあと1日となり、もうすぐ新年度を迎えます。

2年生は3年生になり、進路を決定する一年となります。高校生活の集大成です。2年生の3学期は3年生の0学期と訴えてきましたが、進路決定に向けての学習・準備は進んでいますか？

また、1年生は2年生となります。もう一度これまで一年間の学習習慣について振り返ってもらいたいところです。

1年生へ 高校生にふさわしい学習習慣が身に付きましたか？

①学習習慣を見直し、成績アップをめざそう

1. 学習時間 ～平日は2時間、休日は3時間を目標にしよう～

成績がよかった人（いわゆる難関大に合格できそうな生徒）の5割以上は、平日には2時間以上、休日には3時間以上の学習をしていることがスタディサポートのデータからもわかります。2年生になると、学習内容もさらにレベルアップするので、毎日確実に学習時間を確保することが大切です。

2. 自宅学習内容 ～「予習→授業→宿題・復習」の学習サイクルを徹底しよう～

成績がよかった人（同上）では、宿題や予習・復習など授業を中心とした学習をしている人が多く、毎日の授業を確実に理解していくためにも、「予習→授業→宿題・復習」の学習サイクルを徹底することが大切です。

②1年生の振り返りをしよう

■チェック1：学習習慣

- 国語**
- 自宅学習をほとんどしていない
 - 古文・漢文の予習では、本文をノートに写したり、教科書ガイドの訳を写したりするだけで終わってしまい、わからない言葉を辞書で調べるところまではしていない
 - 読書はほとんどしていない

古文・漢文の予習の際には、わからない言葉の意味を辞書で調べたり、できる範囲で現代語訳したり、書き下したりしておきましょう。また、春休みを利用して興味のある分野の本を読んでみましょう。

- 数学**
- 宿題は友達に写させてもらうことが多い
 - 授業の復習はほとんどしない
 - 定期試験対策は試験の2～3日前から行う
 - 定期試験の復習は誤答箇所の確認しか行わない

宿題と復習で授業内容を確認し、問題演習を行うことが学力アップのカギになります。定期試験も2週間前にはスケジュールを立て、問題演習を多く行って実力をつけていきましょう。

- 英語**
- 予習はほとんどしない
 - 文法は定期試験前にまとめて覚える
 - 辞書では1番目の意味だけ確認し、例文までは見ない
 - 長文でわからない語句があるとすぐにあきらめてしまう

英語では日々の予習が大切です。その際に、「わからない語句があれば文脈から推測する」「辞書では例文まで確認する」などを習慣にするとさらに学力アップが期待できます。

■チェック2：進路・生活

- 将来やりたいことについて、職業や学問などを調べていない
- 平日の学習時間が2時間未満である
- 毎日の学習を始める時間は決まっていない
- 「起床時間」「就寝時間」が毎日バラバラである
- 携帯電話の使用やゲームを1日2時間以上している

学びたい学問や将来の職業などについて目標を持つことで、学習意欲が高まります。また、起床時間・就寝時間・学習開始時間を決め、生活リズムを一定に保つことも大切です。

③1年間の総復習を

春休みの課題などはもちろんのことですが、春休みは定期考査や模擬試験の問題をもう一度やり直すよい機会です。今までの学習内容を確認し、次のレベルに備えよう。

2年生へ 安易な進路選択はダメだ！

①「春のオープンキャンパス」での注意点

進路指導室前にも案内を置いていますが、ここ2～3年で急激に増加したのですが、多くの学校で『春のオープンキャンパス』と銘打ってイベントが行われます。合格すれば、2～4年は通学する場所ですから、自分の目で確かめることは大切なことです。2～3校は見学して、ぜひ見比べてほしいのです。その上で第一志望校を決定してもらいたいと思います。これから夏休みにかけてオープンキャンパスは開催されますから、急ぐ必要はありませんが、実際に足を運ぶつもりでこれからの計画を立ててください。

そこで特に注意してほしいのが、（特に看護を除く）専門学校に関してですが、安易に「書類にサインをしない」、簡単に「専門学校の言うことにイエスと言わない」ことです。

よくあるケースとして、「本校のAO入試のエントリーシートを書いてください。正式な合格は8月以降ですが、実質合格と同じように扱います。今なら入学金（検定料など）を〇万円免除します。…」といったようなことがあると聞きます。

専門学校は、経営上早くに入学者を確保するために、1学期の間に以上のような手法（AOエントリーなどと称し）で、どんどん合格を出しているとも言われます。そして、よく比較もしないうちに（あれよあれよと言う間に）入学する生徒もいるようです。

また、重要な進路決定なので保護者と同伴で行くこともあろうかと思えます。ぜひ大人の視点で学校を見てもらってください。専門学校の中には、「生徒はこちら」「保護者はこちら」というように別々で説明会をするということもあるようです。

つまり、17歳の皆さんが、自分自身でしっかりと返事をする必要があるかもしれないということです。何度も言いますが、「安易・あいまいな受け答えはしない」ことです。

※専門学校進学希望者は、3/19「正しい専門学校の選び方」ガイダンスを思い出すこと。

②英語が苦手だと厳しい現実が待っている

3/6「看護・医療系学校ガイダンス」では、カレラック看護医療スクール・渡部先生から、「現役生で不合格の生徒は、英語を苦手とする生徒が多い」という指摘がありました。英語が嫌いな生徒は、達成感がない（覚えてもなかなか模試などに出ない）からだといえます。しかし、英語は入試から外せないのです。また看護の世界に限らず、ずっとついて回るものでもあります。ですが、今から英語に取り組むことで、夏過ぎにはなんとなく分かってくるはずですよ。

※2年生へは裏面に続きます

③「受験生」になる準備ができていますか確認しよう

■チェック1：学習習慣

- 国語**
- 授業中は板書を写すことに集中して、先生の口頭での説明は書き留めていない
 - 古文・漢文の予習では、本文をノートに写したり、教科書ガイドの訳を写したりするだけで終わってしまい、わからない言葉を辞書で調べるところまではしていない
 - 古典の辞書を引くときに他の用法や意味は確認しない

受験生であっても授業中心の学習を続けることが大切です。古文・漢文の予習を行う際には、辞書を活用して本文訳を考えるとところまでするようにしましょう。

- 数学**
- 問題演習は試験前にまとめて行う
 - 平日の学習時間は1時間未満である
 - 定期試験前の学習は公式・定理の暗記だけを行う
 - 応用問題を解くときに、わからないとすぐに答えを見る

数学では問題演習を多く行うことが大切です。毎日の復習や定期試験・模擬試験前後の学習をうまく活用して問題演習を行っていきましょう。

- 英語**
- 予習は行わず、定期試験前にまとめて学習する
 - 定期試験後は間違えたところだけを確認して、復習はしない
 - 辞書を引くときは、意味だけを確認し、例文までは見ない
 - 長文読解では、わからない単語があるとすぐにあきらめる

英文を読む力をつけるために、予習など普段の学習の中で辞書を活用し、語彙を増やしていきましょう。また、わからない単語があった際は、前後の文脈から意味を推測する練習も大切です。

■チェック2 進路・生活

- 「受験勉強を始めるのはまだ先でよい」と思っている
- 志望校・学部・学科の詳細な研究内容を調べていない
- 模擬試験後の復習はしないことの方が多い
- 起床時間・就寝時間など、生活リズムを固定できていない

志望校はもう決まっていますか。目標が決まれば「目標達成に必要な学力」と「現在の学力」とのギャップを把握でき、「これから何をすべきなのか」が明確になります。また、模擬試験を活用しながら受験勉強を進めていくこともポイントです。

④受験勉強とは総復習

春休みの課題などはもちろんのことですが、春休みは定期考査や**模擬試験の問題をもう一度やり直すよい機会**です。

特に3年生になると、毎月1度は**模擬試験**を受けていくことになります。進路通信でも訴えたように、**模擬試験の受け放なしはダメ**です。すぐに答え合わせをすることはもちろん、**問題は保管し**、3回（受験直後→1週間後→1ヶ月後の3回と言われます）は解きましょう。

また、何回解いても間違える問題をコピーしてノートに貼っていくというような苦手問題ノートを作ることもお勧めです。

⑤現役生はどんどん学力が向上する！さあ今からだ！

今から科目数を減らすことなく、学習していくと、必ず成果が出ます。

今年、兵庫県立大学（経済学部）や公立ほこだて未来大学（システム情報科学部）に見事合格した先輩は、まさしくその例です。

また近年、看護・教育・栄養などといった資格系統の大学では、非常に高い倍率となっています。そういった中でも、粘りぬいたことで、第一志望校への合格を勝ち取った3年生がいます。

例えば、今年の3月入試では神戸女子大学家政学部管理栄養士養成学科では、定員10名（実合格数は今後判明）に161名が殺到する入試となりましたが、先輩は第一志望を貫き見事合格を勝ち取っています。

このように現役生は学力がどんどん向上しますから、今から頑張ってお勉強していきましょう。来年の今頃には満足できる結果を得ることができるでしょう。

みなさんのこれからの頑張りに期待しています。